

### 1. 実証運行の目的

町内を運行する路線バス、町営バス・スクールバスと、町立病院送迎バス、スクールバス（専用型）等、競合・補完関係にある交通手段を統合・整理し、既存の運行リソースを活かしながら移動環境を確保・向上させる。

分かりやすい運賃体系、利用しやすい運賃体系への転換により、料金抵抗を下げる一方で、事業者の収入も確保する。

### 2. 実証運行の評価項目・方法

国の共創モデル実証プロジェクトの補助を受けるにあたり、事例間で統一した指標による評価を行うことを求められており、その観点も踏まえて以下のとおり評価項目と、検証方法を設定する。

評価項目	評価指標	評価方法
交通手段の統合・整理（運行の生産性向上）	輸送密度（運行1kmあたりの平均的な輸送人員）★	運行実績整理
移動環境の確保・向上	利用者数	運行実績整理
	外出の増加回数★	住民アンケート調査
	公共交通を利用した外出先の増加数★	住民アンケート調査
	交通空白地（面積・人数）★	データ分析
事業環境の確保	運賃収入	運行実績整理

★は共創モデル実証プロジェクト採択事例間の統一評価指標

### 3. 住民アンケート調査について

奥畑線乗合タクシーの実証運行の運行区域である小松・西屋代・東屋代の各地区にお住まいの住民の方を対象としたアンケート調査を実施する。

現時点で想定する調査の仕様は以下のとおり。

調査目的	実証運行の効果検証を行うとともに、今後のさらなる改善に向けた内容の検討を行うための基礎資料を得る。
対象者	小松・西屋代・東屋代の各地区にお住まいの方（全世帯に配布）
調査時期	令和6年12月
調査方法	郵送配布、郵送またはweb回答
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直し前後の奥畑線乗合タクシー、大島病院患者輸送バスの利用頻度</li> <li>・見直し前後の外出回数</li> <li>・見直し前後の公共交通を利用した外出先の増加数</li> <li>・奥畑線乗合タクシーの改善点</li> </ul>

### 4. 今後の予定

令和6年12月	アンケート調査票発送→年内締切
令和7年 1月	入力・集計
2月	評価検証①、見直し内容検討
令和7年 3月	（必要に応じて）地域公共交通活性化協議会・交通会議にて見直し内容審議
令和7年 4月	見直し
令和7年 8月	評価検証②、本格運行移行判断
令和7年10月	本格運行

## 5. 住民アンケート調査項目案

### Q1 個人属性

- ・お住まい 《小松／西屋代／東屋代》
- ・性別 《男性／女性／その他・答えたくない》
- ・年代  
《15～29歳／30代／40代／50代／60代／70代／80歳以上》
- ・職業  
《学生／会社員・公務員／自営業／農業・漁業／  
パート・アルバイト／主婦・主夫／無職／その他》
- ・免許保有状況  
《自動車運転免許あり／バイク・原付運転免許のみあり／  
運転免許を返納し、現在は持っていない／  
もともと持っていない》

### Q2 見直し実証実験の認知度

- 《見直しの内容も含めて知っていた／  
見直し自体は知っていたが、内容までは知らなかった／  
知らなかった》

### Q3 見直し前後の奥畑線乗合タクシーや大島病院送迎バスの利用頻度

- ※見直し前の奥畑線乗合タクシー、大島病院送迎バス、  
見直し後の奥畑線乗合タクシーのそれぞれで回答  
《週5日以上／週3日以上／週1日以上／月1日以上／  
年4日以上(3ヶ月に1回以上)／年1日以上／  
全く利用しない》

### Q4 見直し前後の外出頻度

- ※見直し前、見直し後のそれぞれで回答  
《週5日以上／週3日以上／週1日以上／月1日以上／  
年4日以上(3ヶ月に1回以上)／年1日以上／  
全く外出しない》

### Q5 Q4で外出頻度が増えた人の増えた目的

- 《買い物／通院／趣味・娯楽／友人と会う／その他》

### Q6 見直し前後で主な外出先の数はどの程度変化しましたか。

- ※見直し前、見直し後のそれぞれで回答  
《主な外出先の数》

### Q7 奥畑線乗合タクシーの実証実験において、本格運行に向けてさらに改善する場合に重要だと思う改善点

- 《乗降場所の増加／運行時間の前倒し／運行時間の後ろ倒し／  
運行台数の増加／乗降場所の明確さ／車両の小型化／  
その他》

### Q8 追加してほしい乗降場所

### Q9 Q7、Q8の改善が図られた場合、利用するか

- 《今まで以上に利用する／今と同じぐらい利用する／  
利用しない》

### Q10 自由意見